

学番	37	長岡工業高等学校
----	----	----------

令和5年度

学校自己評価表（報告）

学校運営計画					
学校運営方針		「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成を図るため、地域と連携してデジタルものづくりなど「学ぶ」ことの大切さを教え、これからの社会で「生きる力」を身につけさせる学校をめざす。			
昨年度の成果と課題		年度の重点目標		具体的目標	
新型コロナウイルスの影響はあったが、学校行事等は規模や内容の見直しを工夫して行い実施した。生徒の研究発表等も実施する中で、学年を越えた生徒の交流を促進し、学校の活性化を図ることができた。また、外部や地域とも連携して様々な事業を実施しながら学校運営を推進できた。		① 基本的な生活習慣の定着と自他敬愛の精神を育成する		規律ある生活態度を養う 交通事故防止と交通マナーの向上 全教職員の共通理解を図る	
		② 教育課程に基づき組織的かつ計画的に教育活動の「質の向上」を図る		学習の基盤となる資質・能力の育成 現代的な諸課題に対する資質・能力の育成 地域の人的・物的資源の活用	
		③ 進路意識の啓発と希望進路の実現を図る		体系的な進路指導計画づくり 望ましい勤労観、職業観の育成 希望進路実現のための基礎力養成	
		④ 「なすことによって学ぶ」特別活動の取組を図る		人間関係形成 社会参画 自己実現	
		⑤ 勤務時間に対する意識改革を図る		月80時間を越える時間外勤務をゼロにする。	
重点目標	具体的目標	具体的方策			評価
②、④ 教科指導	授業規律の確立	授業に不必要なものを片づけさせ、学習環境を整える。			A
		授業開始と同時に授業を受ける姿勢を整える。			A
	自主的学習の促進と学力の向上	基礎的な知識と学力の定着を図る。			A
		定期的に課題を与え、自学自習、家庭学習の習慣を身につけさせる。			B
		生徒研究を奨励し、主体的学習態度を育成する。			B
授業の改善・工夫	各種資格検定の積極的な受験を奨励し、指導を通じて勤労観・職業観の育成を図る。			A	
	生徒の『授業・学習アンケート』等を活用し、授業の充実に資する。			B	
個人情報管理と外部への発信	研究と修養に励み、生徒に興味・関心を持たせる授業の充実に心掛ける。			A	
	個人情報とネットワークシステムの安全で効率的な運用を行う。			A	
	成績処理の発展的なシステムの構築と運用を目指す。			A	
		ホームページを定期的に更新する			A
① 生徒指導	基本的な生活習慣の確立と自己管理の徹底	定期的に服装頭髪指導、立哨指導を行い、高校生として品位ある態度の育成を図る。			A
		校内での携帯端末の使用ルールの定着を図る。			B
	交通マナーの向上	全校集会や学年集会等を利用し、規律ある生活態度を養う。			A
		市内の通学路を中心に自転車等の街頭指導を行う。			B
	家庭・地域の連携の確立	定期的駐輪指導、自転車乗車マナーの校内指導を行う。			A
問題行動等を起こした生徒の立ち直りに向けた組織的な指導を行う。			A		
		地区生活指導連絡協議会、学校評議員会等での情報交換を活用して、地域住民の信頼を得られるように努める。			A
		生徒の状況把握進路意識の向上			A
③、④ 進路指導	生徒の適性に応じた主体的な進路選択	いじめ防止対策委員会が行うアンケートや、各学年との定期的な情報交換により、生徒の状況を把握することで、適正な指導を行う。			A
		適性検査の実施や担任・生徒・保護者との進路相談を励行する。			B
	進路実現に向けての支援強化	生徒や保護者に対するガイダンスを実施する。			B
		実力テストや各種模試を積極的に受験させる。			B
		面接や小論文、応募前企業見学の指導をする。			B
		推薦入試、一般入試やセンター試験の受験の指導をする。			B
		履歴書、受験願書など書類の書き方指導をする。			A
		企業や長岡市、ハローワークとの情報交換を密に行う。			A
①、④ 特別活動	校友会活動の活性化 部活動の奨励	大運動会、長工祭などの学校行事に積極的に参加する。			A
		部活動の意義、役割について理解を深める時間を確保し、参加増による活性化に取り組む。			A
① 保健環境	ゴミの分別とゴミ出しルールの徹底を図る。	健康診断の実施、事後措置をおこない、保護者と連携をとりながら、生徒が積極的に学校生活を送ることができるようとりくむ。			A
		保健講話、救急法の講習会を実施する。			A
		清掃・大清掃・屋外清掃の徹底および清掃用具の管理に努め、ゴミの分別とゴミ出しのルール徹底を図る。			A
		感染症予防のため換気・手洗い・マスク着用を徹底するよう指導する。			B
③、④ 文化渉外	円滑なPTA活動 文化的な環境の整備	PTA行事をとおして家庭、地域と学校の結びつきを促す。			B
		図書館の円滑な利用環境の維持、向上を図る。			B
		視聴覚機器及び映像コンテンツの充実と適切な活用を図る。			B
		文化事業の円滑な運営に努め、生徒の情操育成に寄与する。			B
⑤ 学校全体	勤務時間に対する意識改革	月1回の定時退庁日は18時までに退庁する。 夏季休業中の学校閉庁日に休暇を取得する。			A
成果	アフターコロナとなり前年度よりも工夫して、大運動会や長工祭、修学旅行を予定通り実施した。また、合同研究発表会等をリモートで実施することで、生徒同士が交流する機会を持つことができた。外部講師による各種講話やインターンシップ等も実施し、地域と連携して学校運営を推進できた。				総合評価 A

令和5年度

学校関係者評価（報告）

学校運営実施報告	
重点目標	学校関係者評価を踏まえた次年度の主な課題と改善策
教科指導	<ul style="list-style-type: none"> ○将来に役立つ資格や検定について、今後も積極的に受けさせて欲しい。 ○生徒に本をたくさん読むよう指導してほしい。 ○家庭と学校が連携し、家庭学習時間を確保する取り組みをしてもらいたい。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ○服装頭髪の指導について、学校と家庭の連携した指導が必要である。 ○登下校時のマナーを指導していく。 ○生徒の挨拶は良いので継続指導してほしい。 ○薬物乱用防止の講習会など継続して実施してほしい。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ○就職者にも進学者にも早い時期から取り組めるよう情報提供をして欲しい。 ○キャリア教育を継続に取り組んでもらいたい。 ○企業の定着率（離職率）について追跡調査を実施したらどうか。 ○企業の情報を生徒たちにもっと知ってほしい。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ○体育祭など学校行事に生徒が主体的に参加しており、継続してもらいたい。 ○部活動による心身の成長が大きいことから、多くの生徒が部活動に加入する取り組みをしてもらいたい。
保健環境	<ul style="list-style-type: none"> ○環境を考えゴミの分別など、環境意識の向上を図って欲しい。 ○救急法の講習会など継続した実施が必要である。
文化渉外	<ul style="list-style-type: none"> ○学校からのメール配信で、学校の情報が分かってよかった。 ○HPによる学校の情報発信をして、早めに更新してほしい。

※「自己評価の結果の内容が適切かどうか」

「自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか。」

「学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか。」

「学校運営の改善に向けた実際の取組が適切かどうか」などを評価する。

令和5年度

学校自己評価表（報告）

学校運営実施報告

重点目標	学校関係者評価を踏まえた次年度の主な課題と改善策
①基本的生活習慣の定着と自他敬愛の精神を育成する	<p>【生徒指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○継続して定期的な頭髪服装検査継続に取り組む。 ○マナーの向上、挨拶励行の指導に取り組む。 ○市内の通学路を中心に自転車等の街頭指導を行う。 <p>【特別活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校友会行事（生徒会）を中心とした学校行事に、多くの生徒が主体的に参加するように取り組む。 ○文化部や運動部を活性化し、多くの生徒が入るように取り組む。 <p>【保健環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保健講話（救急法等）を実施する。 ○粗大ゴミ置き場の仕切の工夫等でゴミの分別とルール徹底を図る。 ○生徒、職員のゴミ分別に対する意識改革に取り組む。
②教育課程に基づき組織的かつ計画的に教育活動の「質の向上」を図る	<p>【教科指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎的な知識と学力の定着を図る。 ○定期的に課題を与え、自学自習、家庭学習の習慣を身につけさせる。 ○分かりやすい授業に心がけ、専門性を深めさせる。 ○適切な課題やレポートなど家庭学習の定着を図る取り組みをする。 ○各種資格・検定の積極的な受験を奨励し、指導を通じて勤労観・職業観の育成を図る。 ○授業開始と同時に授業を受ける姿勢を整える。
③進路意識の啓発と希望進路の実現を図る	<p>【進路指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○早期の指導が昨年度より効果が出ており、次年度も関係機関と連携を強化し、生徒や保護者への早めの情報提供に取り組む。 ○基礎学力検査が軌道に乗り、国公立大学希望者への組織的な指導に取り組む。 <p>【文化渉外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○PTA活動の活性化へ向け、保護者と連携した活動に取り組む。 ○図書館利用が増えるように、図書ニュースの内容を充実させる。 ○教育効果のある芸能鑑賞会を企画する。
④「なすことによって学ぶ」特別活動の取組を図る	<p>【教科指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校内の規律を遵守することで、規範意識を高め社会に参画する意識が持てるよう指導に取り組む。 ○主体的に学ぶことによって、様々な習慣や知識を身に付け、自己実現につながるよう指導に取り組む。 <p>【進路指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多様な進路希望に対する適切な指導助言により、主体的に進路について考えが深まるように促す。 <p>【特別活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校友会行事（生徒会）等に、生徒が主体的に参加するように取り組む。 ○文化部や運動部を活性化し、多くの生徒が入るように取り組む。 <p>【文化渉外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化行事を通じて豊かな情操感を育成し、そこからくみ取る力を高まるよう指導する。
⑤勤務時間に対する意識改革を図る	<p>【学校全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○夏季休業中の学校閉庁日に休暇を取得する。 ○定時退庁日は18時までに退庁する。 ○月80時間を越える時間外勤務をゼロにする。